

令和5年11月6日

泉南市議会議長
森 裕文 様

学校等公共施設調査特別委員会
委員長 大森 和夫

学校等公共施設調査特別委員会 行政視察報告書

下記のとおり行政視察を実施いたしましたので、その概要を報告いたします。

1. 【視察日】 令和5年10月19日（木）

2. 【視察参加者】

委員長	大森 和夫	副委員長	澁谷 昌子
委員	井上 実	委員	谷 展和
委員	古谷 公俊	委員	竹田 光良
委員	河部 優	委員	森 裕文（議長）

3. 【視察先】
兵庫県尼崎市

4. 【調査事項】

- ① 「にぎわいづくり事業」～なないろカフェについて～
- ② 「公共施設跡地の活用」～大庄西中学校跡地等の活用方針について～

5. 【視察目的】
廃校になった小学校と中学校の跡地利用

6. 【視察にあたり】
泉南市は廃校園舎の除去や跡地利用が進んでいない所があります。
跡地利用は「民間への売却」や「新たな公共施設として活用」などが考えられます。また、統廃合による市民サービスの低下など地域への影響も心配され、市民の意向を重視した跡地利用が何より大事です。
これらの先行例を学ぶため、尼崎市内で2か所の視察を行いました。

7. 【概要】

●「なないろカフェ」の営業・・・開明小学校の跡地利用

校舎や校庭を残し、レストランが営業されています。周辺には観光資源も多く、イベントも開催し観光客に人気です。一方、地域の拠点としての活用が課題となっているそうです。

太平洋戦争の際、アメリカの戦闘機の機銃掃射による弾痕が残る塀や御真影を飾っていた校長室の金庫などが残され、地域の歴史や伝統が伝わるようになっていました。

旧校舎は教室ごとに使用でき、便利だそうです。古い校舎のため、維持管理費用や新築工事などは大変だそうです。

●地域との協議で公園の整備目指す・・・大庄西中学校の跡地

10年以上、地域との協議をかさねて、地域が主体となって管理運営を行うことにより、多様で自由な利用を可能とする共同型公園の実現を目指しています。

跡地の埋蔵物が障害になり、売却などの利用計画は見送られました。計画が決まるまで時間がかかり、議会からも指摘されたそうです。

地元の要望を受け、新しい公園は防災機能も備えるそうです。公園にバス停を新設する意見は、バス会社とも協議をしましたが、出来ないそうです。

8. 【視察を終えて】

京都市内でも学校の跡地に商業施設などが誘致されています。しかし泉南市においては同じような立地条件は、望めません。跡地を民間に売却する場合も、地域の拠点としての役割（地域の歴史や伝統を伝える、防災機能を持たせる等）を果し、地域住民の意向を重視する跡地利用が大事だと思いました。



